

第62回 半田市フラワーコンクール入賞者

市長賞

尾形 玲子

半田市民憲章実践協議会会長賞

稲生 花世

//

浪川 めぐみ

半田ライオンズクラブ会長賞

伊藤 久子

//

平野 ヒトミ

努力賞

有脇真古酌薬師水再生委員会

//

花いち会

審査員特別賞

宇佐美 規代美

//

蛭川 友子

新人賞

岸 真美

審査員

(敬称略)

愛知県立半田農業高等学校 教諭

蛭川 貴大

半田造園園芸組合

野々村 照義

講 評

今年は、冬から春にかけて気温の乱高下が激しく、植物を生育させるのに非常に難しい環境だったと思います。4月中旬にも関わらず、桜やチューリップの花が見られるなど、私たちも肌で感じるころがありました。しかし、参加者のお話を伺うと、皆様日々の手入りを大切にされ、愛情をたっぷり注いでいる様子が感じられ、きれいな花々を見ることができました。

市長賞は、花を飾る空間をDIYで製作され、多くの花を色鮮やかに展示する工夫がされていた尾形玲子さんにさせていただきました。庭の中には、ご夫婦で作られた飾り棚や足元のレンガなど、手作りとは思えない庭があり、現状に満足することなく、常に変化していく庭には、とても魅了されました。ご夫婦のお話を聞くと、フラワーコンクールの時期だけではなく、年間を通して花を楽しむことができるよう庭づくりをされているお話が印象的でした。

今回も、多くの皆様の庭を拝見し、お話を聞くことができ、それぞれの特徴や情熱を知ることができました。また、皆様創意工夫されており、花々を堪能させていただきました。花は生き物であり、近年の環境の変化に左右される難しさはありますが、庭いじりを始めるとあっという間に一日が過ぎてしまうなど、花を楽しんでいる様子が見受けられました。令和5年度からオープンガーデンが始まり、参加者からお庭を通じて交流が生まれることの喜びも聞くことができました。皆様のおかげで半田のまちに潤いが与えられていますので、今後もこうした取り組みが広がっていくことを期待しています。